

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

昨日書いた通り息子が亡くなってしまったので、色々な方面でキャンセルの手続をしたわけですが、一番苦労したのはベ○ッセの「こども○ゃれんじ」でした。

まず退会の方法は電話オンリー。

でまあ、それはいいんですが、いざ退会を申し出たら猛烈に引き止められるわけですよ。

コールセンターのお姉さん

「えっまだ1号しか届けてませんよね？」

「それだけで判断するのは早すぎないですか？」

「せめて2号と3号の教材も使ってみたらいかがでしょう？」

あれはいったい何なんでしょうね。

退会を受け付けたらその係員の成績が下がったりするのでしょうか。

ちなみに自分もコールセンター経験者なので、「わかるよー大変だよー」と思いながら聞いていたのですが、会話の途中で痛恨の一撃がぶっ刺さりました。

「2号のオモチャはオススメなので、○○ちゃん（息子の名前）と遊んだら、きっと喜んでくれると思いますよ！」

いや待ってよ。

名前出すのズルイじゃん。

その瞬間、怒りとも悲しみともつかない感情が込み上げてきて、泣いたって仕方ないのは承知ですが電話しながら泣いてしまいました。

別にイヤになってやめるわけじゃない。

2号が届くの楽しみだったし、私だって、もっともっと遊びたかった。

……という事情を説明したら、さすがにあっさり退会処理してもらえたし、無理に引き止めたことを丁寧に謝ってもらえたんですけどね。

なお弁解しておきますが、こどもちゃれ○じに恨みはないですし、もし2人目が来てくれたらまた利用したいなと思っています。

以上、特にオチもないですが、最近あった出来事の紹介でした。

昨日関連記事を書いたせいだと思うんですが、インターネットの柱広告が、こども〇ゃれんじで埋め尽くされている件。

ベネッ〇よ……。

どんだけワイの心をえぐるんや……。

(注：恨みは一切ありません)

さてさて。

久しぶりに投稿の話をしてしまおう。

自分でも忘れていましたが、カクヨムで「スニーカー文庫《俺のラノベ》コンテスト」が開催されており、ワタクシも参加しています。

【俺のラノベコンテスト】

https://kakuyomu.jp/contests/sneaker_editors

応募総数は 1,003 作品。

そのうち自分が参加した「笑える話」部門は 496 作品だった模様。

まあねえ……。

今の自分はおよそ笑える心境ではないですが……。

何はともあれ、締切は 1 月 4 日（木）だったので、まもなく中間選考の結果が出るでしょう。

まさか私が通過するわけないですが（スーパー後ろ向き）、せっかく自分が参加したコンテストですし、結果が出たらまたこちらで紹介したいと思います。

以上、久しぶりに小説投稿の話題でした。

皆様こんにちは！
イボ痔の常木らくだです！

という挨拶も来週で使えなくなることでしょ。う。
何故なら手術を受けてイボ痔を取ると決めたからです。

もちろん本音を言うと手術はイヤなんですけどね。

きっとすごく痛いだろうし、人に見られるのも恥ずかしいし、患部の場所が場所だけに何かあったら不安じゃないですか。

でも私、
「もう何も恐くない！」

この台詞はまどマギのマミさんが立てた有名な死亡フラグですが、今の私は一番恐いことがもう起こってしまった後なので、痔の手術くらい喜んで受けようじゃないかという心境になりました。

あとはやっぱりアレですね。

将来2人目が来てくれるかもしれないけれど、そのためにはまず、イボ痔を治しておかなきゃいけないなと。

そんなこんなで手術を決めました。
上に書いた通り不安もありますが、詳しい経過などはまた報告します。

それにしても、小説を書き続けたせいでお尻が犠牲になって、最後に残ったのはイボ痔だけ……とかシャレにならないので、自分自身の健康に留意しつつ小説の方でも一旗あげたいと思います。

長年使っていた iPhone が昇天した件。

それまで何ともなかったのですが、ふと見たら下の写真のようにパカッと開いており、電源が一切入らなくなりました。

まるで味噌汁の貝のようです。



そもそもこの iPhone、マカオのヴェネチアン・カジノでボロ負けした後、ヤケになってその場で衝動買いした思い出の品でした。

本当は無一文になるまで賭け続けるつもりでしたが……。

iPhone 代を手元に残すくらいの理性は残っていたんですね……。

ちなみに余談ですが、マカオでは本当に無一文になるまで賭け続けて、帰りのフェリー代をなくす人が続出しているらしいです。

さいわい自分はそうなりませんでしたが、その人達は、いったいどうやって帰るのでしょうか。

とにかく出会いがそんな感じなので、見るたびに惨敗の記憶が蘇る iPhone でしたが、それでも 10 年くらいずっと一緒に過ごしてきた大切な相棒です。

でも、仕方ないですね。

アップルのサイトを見たら、この機種は古すぎて修理もできないみたいなので、寂しいけれど今日でお別れ。

出会いと別れを繰り返すのが人生ならば、この先きっと素晴らしい出会いもあるでしょうし、前を向いて歩いていきたいと思います。

イボ痔の手術を受けました - 2018.02.05 Mon

本日イボ痔の手術を受けました。

感想は、

「痛かった！！！！」

なんでもお医者さんの話によると、肛門周辺には痛みを感じる神経が 200 本近く通っており、それらをすべて手術前に局所麻酔で眠らせるわけです。

この注射がね、痛いなのなの。

しかも注射は 1 回だけではなく、肛門の周辺をぐるりと刺し続けるので、効いてくるまでが地獄です。

まあ効いた後は痛みがなくなるので、実際の手術中はどうってこともなく、30 分くらいで無事に終わりました。

やったね！

これでイボ痔とサヨナラだよ！

とはいえ今後は薬漬けの日々ですが……。



全部で 10 種類とか多すぎでしょ（汗）

実際には頓服や塗り薬もあるので、毎日すべて使うわけではないですが、そのうち混乱して飲み間違えそうな予感がします。

とにかくまずは手術が無事に済んで一安心。

これで大きな心配事が1つ減ったわけですし、明日からは事後治療を頑張ろうと思います。

こんにちは、らくだです。

もう立春も過ぎたというのに、地域によっては大雪が降ったり、まだまだ寒い日が続きますね。

そんな季節にオススメしたい！
座布団サイズのホットカーペット！

カーペットというと大きい物を想像しがちですが、最近は1人用の物が出回っており、値段も2,000~4,000円くらいという手頃な価格。

アフィリエイトブログではないので参考画像だけ掲載しておきます。



冷えは万病のもと！
特にイボ痔に冷えは禁物！

というわけで自分は痔の治療用に買ったのですが、小説を書く人間は座っている時間が長いですし、痔ではない皆様にも普通にオススメできる品です。

お尻を温めると身体全体がほっこりしますからね。
むやみにエアコンの温度を上げるより効率的かもしれません。

あとオススメしたいのはニトリの「着る毛布」ですが、こちらは[大昔に紹介した](#)ので、よろしければ該当記事をチェックしてみてください。

執筆も小説投稿も健康な身体があってこそ。
まだまだ寒いですが冷え対策を万全にしてこの冬を乗り切りましょう。

こんにちは、らくだです。

もうすぐバレンタインですね。

勇気を出して告白するぞ！なんて人もいるでしょうか。

今日はそんな季節にぴったりのラブレターコンテストの紹介です。

【ラブレターコンテスト 2018】

<http://kamitsubu.com/campaign/loveletter/2018/>

- ・ 募集内容 大切な人へのラブレター
- ・ 投稿締切 2018年2月28日（水）
- ・ 応募方法 郵送のみ受付

ちなみに私は息子へのラブレターを書いて投稿しました。

できれば本人へ直接伝えたかったですが、それがもう不可能となってしまった今、せめて審査員の方々に読んでもらえれば……という気持ちです。

しかしコレ！

書くスペース狭すぎでしょ！

自分が今の気持ちを正直に綴ったら、原稿用紙 100 枚程度は普通に書けますが、応募用紙のスペースが 6 行しかないんですよ（汗）

まあ過度に長すぎるラブレターは、読んで審査する側も迷惑だろうし、試行錯誤して 6 行にまとめました。

なお応募用紙はホームページでダウンロードできますし、手紙の相手は家族や友人でもオーケーなので、皆様も気軽にチャレンジしてみてもいいのではないでしょうか。

こんにちは、らくだです。

先日書いた通り痔の手術を受けたわけですが、麻酔の効き目（2～3日）が切れたようで、お尻が焼けつくようにヒリヒリと痛いのです。

そんな時はこれ。

イボ痔の味方、円座クッション。



これなら安心！

患部がしっかり保護できる！

……と思うでしょ？

ところが実際は正反対で、円座クッションは肛門に負担をかけてしまって、痔が悪化するんだとか。

嘘だと思った人は洋式トイレを思い出してください。

お尻の真下が空洞だと、りきんだ状態になってしまい、うっ血しやすいのです。

自分も初耳で驚きましたが、なにしろ肛門学会理事のお医者さんが言っていた話なので、信じないわけにはいきません。

それにしてもビックリですよ。

今までずっと円座クッションはお尻にいいと思っていました。

ちなみにイボ痔の手術は痛いと書きましたが、とはいえ泣き叫ぶようなレベルではないので、もし痔の方がいらっしゃれば手術を前向きに検討してみてもいいと思います。

こんにちは、らくだです。

コバルトの連載「小説を書くためのプチアドバイス」が更新されました。

今回のテーマは「第 11 回・セリフ力と描写力は、『近所のおばちゃん根性』でレベルアップ！」です。

【小説を書くためのプチアドバイス】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/column-miura-shiwon/001979/>

今回太字で強調されているのは、

「いわゆる『男言葉』『女言葉』は現代の口語表現ではあまり使われていない」

確かに現実の会話を思い出せば、女性だからって「わよ」とか言わないし、男性だからって「だぜ」とか言わないのに、小説ではそういう表現が出てきます。

まあしかし、反論するようでアレですが、自分は個人的に「小説はそれでいいんじゃない？」と思っている派。

お嬢様キャラに「ですわ」と言わせたり、年下純粋キャラに「なのです」と言わせたり、現実ではあり得ない口調を出せるのも小説の魅力だと思うんですよね。

まあやりすぎて薄っぺらくなるのは問題ですし、作品の方向性にもよるでしょうが、そこは作者の自由じゃないかなーと思います。

というわけで。

今回は久し振りに執筆関連の話でした。

なお今回のコラムは口調の話だけでなく、描写力の訓練方法なども載っているので、是非とも皆様チェックしてみてください。

こんにちは、らくだです。

昨日から冬のオリンピックが始まりましたね。
25日の閉幕まで選手達の熱戦をじっくり堪能したいです。

さて本題。

ウェブコバルトの投稿企画「編集 H が独断と偏見で選ぶ ベタだって好きなんだもん！ 小説賞」の結果発表がありました。

今回の応募総数は 50 本だったようで、その中から大賞 1 本、もう一步の作品 5 本が紹介されています。

以下リンク。
選出された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/like_beta_novel_result/

編集 H さんの総評を読むと、王道 SF からホラーにコメディまで、様々な作品が集まった模様。

ただ今回、作品の本文を読めるのが大賞 1 本だけなんですよね。

こういうお題モノの企画の場合、選出作を読み比べるのも楽しいので、もう一步の作品も読みたかったなあ……という気もします。

まあしかし何はともあれ、コバルトは多様な投稿企画を開催してくれるので、これからも引き続きチェックしていきたいと思います。

こんにちは、らくだです。

先日 100 円ショップへ行ったら、バレンタインが近いせいか、可愛い箱がたくさんありました。

喜んでくれる相手の顔を想像しながら、チョコや包装紙を選ぶのも、女性にとっては幸せな時間ですよ。

さてさて。

今回は箱つながりで「箱の中には……？小説賞」の紹介をしましょう。

12 月から募集を開始しているので、すでにチェック済みの方もいると思いますが、応募要項などの詳細はコチラです。

【箱の中には……？小説賞】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/in-the-box_novel/

- ・ 募集内容 「箱」と「その中身」が登場する小説
- ・ 規定枚数 400 字詰め原稿用紙換算で 50 枚以内
- ・ 応募資格 年齢・性別・プロアマ不問
- ・ 作品締切 2018 年 2 月 28 日（水）
- ・ 投稿方法 ウェブ応募
- ・ 受賞賞金 5 万円

箱が重要なストーリーといえ、浦島太郎や舌切りすずめがありますが、比較的自由度が高いので色々な話が書けそうですね。

なお箱の形状や大小は問わず、「“中の見えない箱状の物”であればなんでも OK」とあるので、合致するネタをお持ちの皆様は挑戦してみてもいいかもしれません。

こんにちは、らくだです。

小説家になろうとポプラ社による「恋&謎解き学園ショートストーリーコンテスト」が1月31日（水）より開催中です。

長らく戦線離脱していた影響で、浦島太郎の状態になっている自分ですが、最近本当に色々なコンテストがありますよね。

【恋&謎解き学園ショートストーリーコンテスト】

<https://www.poplar.co.jp/topics/43766.html>

- ・ 募集テーマ 「胸キュンの恋」 or 「ハラハラする謎解き」（重複応募は不可、どちらかを選択）
- ・ 応募方法 なろうに作品を投稿し該当キーワードを設定
- ・ 規定字数 8,000～16,000 字程度（完結を推奨）
- ・ 投稿締切 2018年3月27日（火）

なお受賞作が掲載される「たちまちクライマックス！」シリーズは、「1冊で何度もクライマックスを味わえる」コンセプトの短編集で、主に「小学校高学年から中学生」に向けた児童書ということです。

想定読者は女性（女の子）向けっぽい感じ。

胸キュン賞の説明に「俺様男子に告白される」とかありますからね。

まあなんというか、リアルに崖っぷちという意味では、私の人生も相当なクライマックスだと思いますが……。

何はともあれ締切は3月下旬で結構先なので、ティーンズノベルを書かれる皆様は、是非チャレンジしてみてくださいはいかがでしょうか。

こんにちは、らくだです。

本日イボ痔の経過観察へ行ったところ、手術後の治り具合は順調らしく、やっとお風呂に入れるようになりました。

よかった……。

この寒さの中で入浴不可は地獄だもの……。

さて今回も賞の紹介を。

カクヨムで「スマートニュース×カクヨム連載小説コンテスト」が開催中です。

【応募要項】

https://kakuyomu.jp/contests/smartnews_contest

- ・ 募集内容 スマートニュース上にて公式連載する小説
- ・ 開催期間 2018年2月1日（木）～3月31日（土）
- ・ 選考方法 編集部による選考（読者選考なし）

また連載を想定しているため、

- ・ 作品全体が30話以上となっている（必須）
- ・ 1話あたりの字数は2,000～3,000文字前後（推奨）
- ・ ストーリーが30話にて一定の区切りとなっている（推奨）

などの条件が設定されています。

この辺が通常の小説とは違うので、書き方に工夫が必要ですが、面白そうなコンテストですよ。

募集が始まったのは2月1日ですが、もう400本近く応募があるようですし、今後も経過を追っていきたいと思います。

今日はバレンタインデー。
大切な人に想いのたけを伝える日です。

ところで前にも書きましたが、自分は先月、生後2か月の息子を亡くしました。

小説や映画ではよく「亡くなった人に1日だけ会える」というシチュエーションがあったりするじゃないですか。

そういう場合たいいの作品は「心残りだったことをする」→「気持ちの整理がつく」→「心を切り替えて前へ歩き出す」みたいな展開になるわけですよ。

でもね。
私だったらそんなシチュエーションはいらないかな。

だって1日だけ会えるってことは、その1日が終わってしまったら、またお別れをするわけですから。

そんなの悲しくて耐えられないし、こんな気持ちは1回だけで充分ですし、そもそも1日程度で未練が消えるわけじゃないですか？

とか考えながら作ったチョコ。
クリーム入りの生チョコレートです。



暗い気持ちで作ったので、あまり美味しくないかもしれませんが、遺影の前にお供えしました。

生まれてくれて本当にありがとう。
いつかお空で再会したら、一緒にチョコを食べようね。

ブラックデー - 2018.02.15 Thu

こんにちは、らくだです。

昨日はバレンタインでした。

告白が成功した人&された人はおめでとうございます。

前回のブログに書いた通り、私は泣き顔のバレンタインになりましたが、来年は笑顔で迎えたいですね。

ところで皆様ご存知でしょうか。

韓国にはブラックデーなる記念日があるそうです。

韓国人の知人に教えてもらった時は、「嘘やんw」と思ったのですが、ウィキペディアにも載っていました。

2月14日 バレンタイン → 好きな人に告白やプレゼントをする

3月14日 ホワイトデー → バレンタインのお返しをする

4月14日 ブラックデー → バレンタインにもホワイトデーにも縁のなかった寂しい男女が黒い服を着て黒い物（ジャージャー麺とか）を食べる

あかん……。

ブラックデー寂しすぎる……。

しかしコレ、実際はどんな雰囲気なのでしょうか。

リア充爆発しろ的な呪いの集会なのか、逆に合コンだぜウエーイのような雰囲気なのか、少し見てみたいような気はします。

まあいずれにしろ、今は自分の精神状態が相当ブラックなので、うっかり闇落ちしないよう注意したいと思います。

チョコレート小説賞の結果- 2018.02.16 Fri

こんにちは、らくだです。

おととい作ったバレンタインチョコですが、ツイッターにも写真を載せたら、不適切な画像と判断されて非表示になる模様。

なんでや！

アダルトな要素あらへんやろ！

それはさておきチョコレートといえば、コバルトの投稿企画、チョコレート小説賞の発表がありました。

以下リンク。

作品が掲載された皆様はおめでとうございます。

【チョコレート小説賞】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/chocolate_novel_result/

今回は応募数が36本ということで、ちょっと少なめだった感じですね。

普通の投稿企画はもうちょっと多いはずですが、今回のように自由度が高すぎると、逆に書きづらい部分があるのかもしれない。

なお総評には「来年もこの賞を行うことができれば……」という言及が。

もしそうなった場合、今年のバレンタインに味わった自分の気持ちを小説にして送りたい、なんて思ってみたり。

まあ今はダメージを受けているので、執筆を再開できるような精神状態ではありませんが、いつかまた復帰できればと思います。

小説家になろう利用者アンケート- 2018.02.17 Sat

こんにちは、らくだです。

突然ですが小説家になろうで利用者アンケートが実施されているようです。

抽選で素敵なプレゼントもあるようなので、皆様ぜひ参加されてはいかがでしょうか。

【小説家になろうアンケート】

<https://enquete.cc/q/narou-18>

【所要時間】10分～15分程度

【参加資格】小説家になろう利用者

【回答締切】2018年3月7日（水）17:00

【プレゼント内容】

- ・Amazonギフト券1万円分（10名）
- ・「小説家になろう」特製バインダー&ボールペン（10名）

よっしゃ！

Amazonギフト券ゲットするぜ！

と思いながら回答ページへ進んだのですが、子どもの有無の選択肢の「※離死別含む」という注意書きで、トラウマが発動してブラウザを閉じました。

あかん……。

今のワイには残酷すぎる質問や……。

とはいえ小説家になろう自体は悪くないですし、サイトを利用されている皆様は是非、Amazonギフト券1万円を狙ってみてください。

以上、小説家になろう利用者アンケートの紹介でした。

こんにちは、らくだです。

最近オリンピックを見ているのですが、海外選手のインタビューを聞いていると、通訳って大変だなーと改めて思ったり。

同時通訳って事前に準備できませんからね。
臨機応変な対応力が求められる世界だと思います。

さて本題。
アルク翻訳コンテスト 2017 の結果が発表されました。

出版・実務・字幕という3つの部門がありましたが、下記発表ページでそれぞれの講評を確認できます。

【アルク翻訳コンテスト 2017】

<https://www.alc.co.jp/translator/article/tobira/contest2017.html>

今回の講評は全体的にちょっと辛口。
ただ訳例を読むと「プロはこう訳すのか」と勉強になります。

特に出版部門の講評には、

- ・ 段落冒頭の字下げは書籍の原稿では常識
- ・ 科学書では「～だ、～である」等の常体が慣例
- ・ ブログやメールの影響か？ 段落間があいているのは NG

などの基本的な作法が載っているので、翻訳クラスタの皆様は是非チェックを。

何はともあれこのコンテスト、今年もまた開催されると思うので、詳しい情報が出たらまた紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

もう2月も下旬なのに寒い日が続きますね。
冬は体調を崩しやすいので早く暖かくなって欲しいです。

さてさて。
第24回いたばし国際絵本翻訳大賞の結果が発表されました。

以下リンク。
受賞者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】
http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_oshirase/084/084989.html

- ・ 応募数 英語部門 798 件、イタリア語部門 244 件
- ・ 定員数 英語部門 1,000 名、イタリア語部門 300 名

たしか今回は両部門とも定員いっぱいだったはずなんですが、それより応募数が少ないってことは、エントリーしたけど挑戦しなかった人がいるのでしょうか。

いやちょっと！
参加費いる賞なのにもったいないよ！
(まあ挑戦するかどうかは本人の自由ですが……)

なお応募者に郵送される講評は、発表ページ下方からダウンロード（Word ファイル）できるので、参加者以外もチェック可能です。

このコンテストはアルクと並ぶ数少ない翻訳の賞ですし、講評を読むと勉強になるので、ご興味のある皆様はリンク先を確認してみてください。

こんにちは、らくだです。

小説家になろうで新しいコンテストが始まりました。
ライト文芸レーベルのスタート出版が開催する賞です。

詳しい応募要項などは下記ホームページでご確認ください。

【小説家になろう×スタート出版文庫大賞】

https://www.no-ichigo.jp/starts_bunko/contest2018.php

- ・ 募集部門 青春恋愛小説部門、ほっこり人情小説部門、フリーテーマ小説部門
- ・ 必須条件 主人公の年齢が10～20代（青春恋愛小説は20代前半までを推奨）
- ・ 規定字数 80,000～130,000字（完結必須、新作推奨）
- ・ あらすじ 最終ページに400字程度で記載
- ・ 受賞特典 賞金&書籍化確約&講評
- ・ 応募締切 2018年5月10日（木）
- ・ 結果発表 6月上旬

ちなみに「あらすじの内容を元に審査を進めさせていただきます」とのこと。

まさか本文を読まないなんてことはないでしょうが、締切日から発表までが近いですし、あらすじが重要なウェイトを占めそうな感じですね。

それにしても最近ネット小説のコンテストが増えました。

応募の選択肢が増えるのは投稿者にとって嬉しい状況ですが、参加が手軽な分競争率も高いので、以前よりデビューがラクになったというわけではありません。

結局のところ一番重要なのは作品の内容で、それは今も昔も変わらないので、肝に銘じて執筆していきたいと思います。

皆様こんにちは。

カクヨムブログにアンケートに関する記事が掲載されました。

現在なろうでもアンケートをしています、それに比べると質問項目が少なめで、誰でもすぐ回答できる内容になっています。

【カクヨムでアンケート実施中】

<質問項目>

- ・ 性別
- ・ 生年月日
- ・ 読んだことがあるラノベ（選択回答）
- ・ 最近ハマっているゲームやコミック（自由記述）

先日のなろうと違って、こちらにはトラウマ質問がなかったので、私も回答してきました。

そうそう。

トラウマといえば最近なぜか手が震えるんですよ。

考えられる原因は、

【本命】 ショックによる心因性の震え

【対抗 1】 倒れて頭を打った後遺症

【対抗 2】 アルコール中毒

【大穴】 ただ寒いだけ

【オチ】 貧乏ゆすり

上の方だと治療が必要ですし、できれば貧乏ゆすりであって欲しいですが、今は理由がわからないのでしばらく様子を見ようと思います。

第9回日本語大賞の結果 - 2018.02.22 Thu

こんにちは、らくだです。

昨日は変な書き方をしてしまい、皆様にご心配をお掛けしました。

手が震えるのは笑い事ではないので、きちんと原因を探して、必要ならば病院へ行くことにします。

さてさて。

2月20日に第9回日本語大賞の結果が発表されました。

受賞者の方々はおめでとうございます！

【発表ページ】

https://www.nihongokentei.jp/grandprize/09_result.php

<応募数>

- ・小学生の部 2,149 本
- ・中学生の部 409 本
- ・高校生の部 203 本
- ・一般の部 248 本
- ・合計 3,009 本

小学生の部が多いのは学校単位の参加だと思いますが、それにしても、応募総数 3,000 本を超える力作が集まった模様です。

残念ながら受賞作は読めませんが、タイトルを見ただけでも色々と想像が膨らんで、日本語の奥の深さを感じますよね。

この賞は毎年開催されているので、次回の応募要項が発表されたら、また改めて紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

ウェブコバルトの「ふゆの上等兵とニーハイ軍曹のオトメのモノクロイラスト講座」が更新されました。

小説ではなくイラストの企画ですが、コバルト関連の話題ですし、念のためリンクを掲載しておきます。

【オトメのモノクロイラスト講座】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/illust_course_result/index.html

今回載っているのは、

- ・ お題に沿った応募イラスト 4 点
- ・ 各作品に対する講評
- ・ Q & A コーナー

ちなみに講評はマンガ形式です。

絵を描かない自分でも「なるほどー」となるような内容でした。

普段は何気なく見てますが、イラストレーターさん達って、本当に色々なことを意識して描いてるんですねえ（感嘆）

あともう 1 つ感じたのは、同じ場面を描いたイラストでも、作者によって雰囲気まったく違って面白いなと。

これだけ雰囲気が違っていると、小説自体のイメージも変わってくるだろうし、挿絵って大事だなと思いました。

ちなみにこの企画は単発ではなく、これからも続くようなので、今後もチェックしていきたいです。

こんにちは、らくだです。

2月は他の月より短いので、作家になったら締切的に大変だと思いますが、作家になる見込みのない自分にはあまり関係ありません。

さてさて。

富士見ファンタジア大賞の締切が近付いてきました。

正確には残りあと5日ですが、投稿に関する注意事項が公式サイトにUPされたので、参加予定の皆様は要チェック。

【投稿の注意事項】

<https://www.fantasiataisho.com/news/#n544>

要点をまとめると、

- ・アカウント登録は事前に済ませよう
- ・名字と名前の間は1マス分あけて登録すること
- ・応募歴は投稿キャリアがわかるよう具体的に書こう
- ・マイページ上部のアップロードガイドを確認しよう
- ・再投稿は基本的に禁止なので不備がないように
- ・締切当日の問い合わせ対応は17時まで

という感じです。

具体的な内容についてはリンク先をご覧ください。

それにしても春は新人賞の締切ラッシュなので、ツイッターを見ていても、追い込み作業中の方が徐々に多くなってきました。

自分はまだ心身が回復しきっていないので、この春の賞には参加しませんが、皆様が良い結果を出せるよう願っています。

こんにちは、らくだです。

少し遅れての紹介ですが、第7回講談社ラノベチャレンジカップの2次結果が、公式サイトに載りました。

ちなみに更新日は2月14日。

バレンタインを狙った発表です。

【発表ページ】

<http://lanove.kodansha.co.jp/award/challengecup/7/>

- ・ 応募総数 502 本
- ・ 1次通過 79 本 (約 16 %)
- ・ 2次通過 10 本 (約 2 %)

通過者の方々はおめでとうございます！

にしても発表情報をチェックしていると、常連の投稿者さんについては、自然とペンネームを覚えちゃいますよね。

かくいう自分も、このブログを始めた頃は「よく名前を見るので検索して来ました！」という方が結構いました。

しかし最近はずっとそんな人に出会いません。
まあ通過してないから当然ですがちょっと寂しい気分です。

それはともかく、ラノチャレは2次の後が最終なので、3月中にはおそらく今年の実賞作が決まるはず。

果たしてどの作品が選ばれるのか見守りたいと思います。

こんにちは、らくだです。

カクヨムで開催されていた「ノベルゼロ・第2回大人が読みたいエンタメ小説コンテスト」の結果が発表されました。

以下リンク。

受賞者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

https://kakuyomu.jp/contests/novel0_contest_002/result

- ・ 応募総数 491 本
- ・ 最終選考 40 本
- ・ 受賞作品 0 本（該当なし）

……って受賞者ゼロじゃないですかー！

今回は募集部門が2部門あったし、最終選考も40本と多かったので、豊作なのかと思っていました。

ちなみに2部門は、

- ・ 『ヒロインに制限なし！』大人のラブコメ部門
- ・ 『集え、最強のおっさん！』戦う成人男性部門

だったんですが、応募する側と選考する側で、求める作品にギャップがあったのかもしれませんが。

というわけで今回は残念でしたが、第3回が開催されるなら、次回の巻き返しに期待したいです。

こんにちは、らくだです。

カクヨムで開催されていた「スニーカー文庫《俺のラノベ》コンテスト」の結果が発表されました。

まずは中間発表かと思いきや、いきなり最終結果が公開されたので、ちょっと動揺しております。

何はともあれ以下リンク。

受賞者の方はおめでとうございます。

【発表ページ】

https://kakuyomu.jp/contests/sneaker_editors/result

- ・ 応募総数 1,029 本
- ・ 受賞作品 9 本（大賞 1 本、特別賞 8 本）

実は自分もこっそり参加していたのですが、受賞しなかったのはもちろん、気になった作品リストにも載りませんでした。

別にいいもん！

今は小説書けないから受賞したって困るもん！

というのは単なる強がりで本当は残念です。

どんなコンテストであれ、投稿者はいい結果を期待しつつ送るわけですし、自分の作品が落ちてしまったら悲しいのが当然ですよ（泣）

それはさておき受賞者には担当編集がつくようなので、作品が刊行される可能性もありますし、引き続き今後の動向を追っていきたいなと思います。

こんにちは、らくだです。

えんため大賞のホームページに、受賞者コメントが掲載されました。

リンクはこちらです。

【受賞者インタビュー】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/interview/19-00.html>

<質問項目>

- ・ 小説を書こうと思ったきっかけ
- ・ えんため大賞を選んだ理由
- ・ 受賞作のアピールポイント&執筆する時に気を付けたこと
- ・ 受賞が決まった時&授賞式に出席した時の気持ち
- ・ 将来どういう作家になりたいか
- ・ これから作家を目指す人へのアドバイス

やはりと言うか、自分をもっとも注目して読んだのは、これから作家を目指す人へのアドバイス。

4名の受賞者さんのアドバイスが載っているんですが、本当に十人十色（4人だけ）で、小説投稿に正解なんてないということが実感できます。

まあでも正解が存在しないからこそ、自分に合った方法を見つけていくしかないわけで、そこが創作の醍醐味とも言えますよね。

ちなみにこのインタビュー、今はファミ通部門だけですが、ビーズログ&アリス部門についても今後アップされる模様。

というわけでサイトが更新されたらまた紹介したいと思います。